

### 3 - 11 中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の最近の地震活動： 1984年9月～1985年3月

Seismic Activity in the Northwestern Chubu Region (Northern Hida and its  
Surrounding Areas) , September 14, 1984 - March, 1985

京都大学防災研究所  
上宝地殻変動観測所  
Kamitakara Crustal Movement Observatory  
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

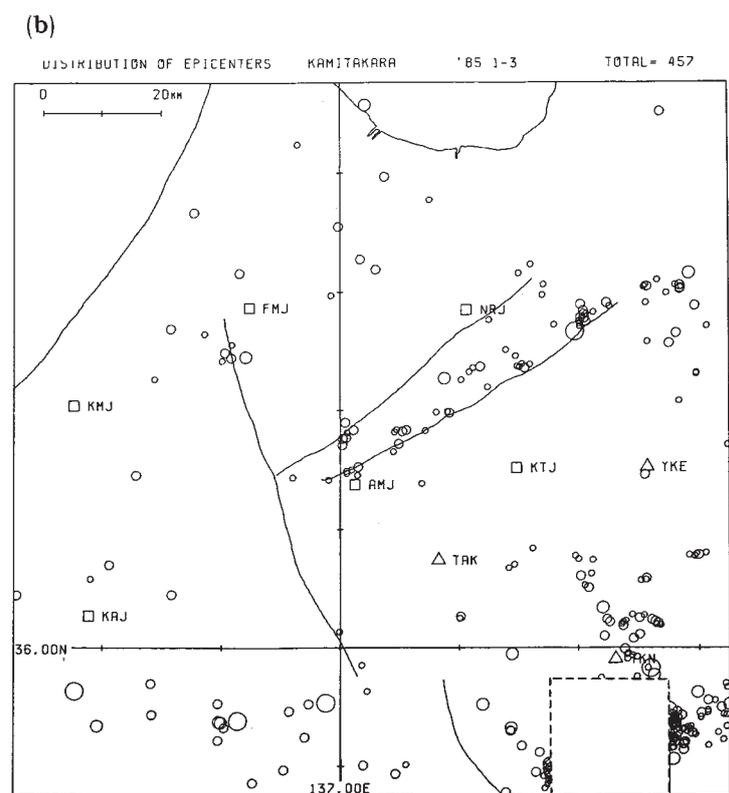
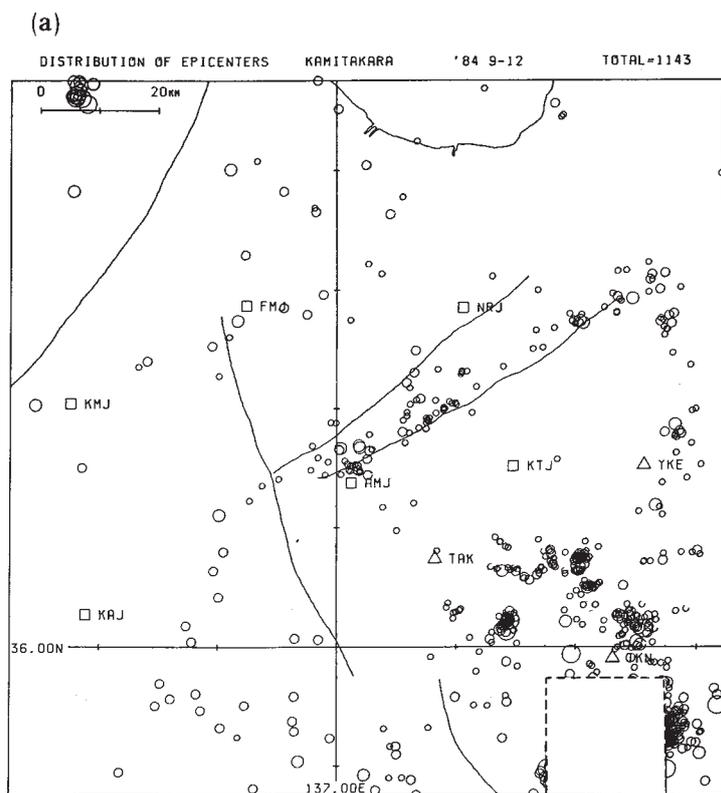
1984年9月14日に長野県西部地震が発生したが、ここでは前報<sup>1)</sup>に引き続き、この地震発生後の飛騨地方北部一帯の地震活動の状況と、長野県王滝村付近の余震活動を報告する。

第1図(a)は1984年9月14日より12月31日迄、第1図(b)は1985年1月1日より3月31日迄の間の地震活動の状況である。王滝村周辺以外では、10月16日より同31日迄高山東南方の久々野町付近でやゝ顕著な群発活動が見られ、同25日の $M = 3.7$ 及び26日の $M = 3.4$ の2個の有感地震を含み、50個の小地震が発生した。また10月6日より11月9日迄の間、石川県羽咋市西方沖約25kmの日本海域で、 $M = 3.1 \sim 3.4$ の地震5個を含む計25個の群発地震活動が観測された(第1図(b)左上隅)。1985年1月17日には岐阜・福井県境付近で $M = 3.8$ 、2月12日岐阜県白鳥町東方で $M = 3.9$ 、2月14日跡津川断層上の有峰付近で $M = 3.0$ の地震が発生している。これ以外では、飛騨山脈北部及び南部の乗鞍岳周辺、跡津川断層東部及び西部の天生付近、御母衣断層北端付近などで微小地震活動が見られる(第2図)。

一方、長野県西部地震の余震活動は数は減少しながらも現在なお継続している。第3図は本震発生以後1985年4月迄に上宝観測網で観測された余震発生数(日別頻度分布)の時間的推移を示し、観測総数は約12,000回に達する。余震の震央分布に関しては、前報<sup>1)</sup>第4図の決定精度はあまり高くないので、今回、国立防災科学技術センターの下呂観測点及び岐阜県加子母村に設置した臨時観測点( $\lambda = 137^{\circ} 23' 19'' E$ ,  $\psi = 35^{\circ} 41' 53'' N$ )観測データを加え、震源の再決定を行なった。第4図(a)は1984年9月14日の本震発生後10月末迄、第4図(b)は同年11月より1985年3月末迄の $M \geq 3$ 以上の余震の震央分布を示す。第5図は全期間の重ね合わせである。1985年に入ってから、2月26日19:53の $M = 5.1$ の大きい余震が全体の分布の東部に発生したほか、この前後の2月21日より3月2日に到る $M \geq 3$ 以上の余震16個の発生が目立っている。またこれ以後の活動では4月10日21:55の $M = 4.2$ のほか、4月21日より25日迄の間中にも $M = 4.0$ を含む7個の $M \geq 3$ の余震が発生している(第5図には含まれない)。

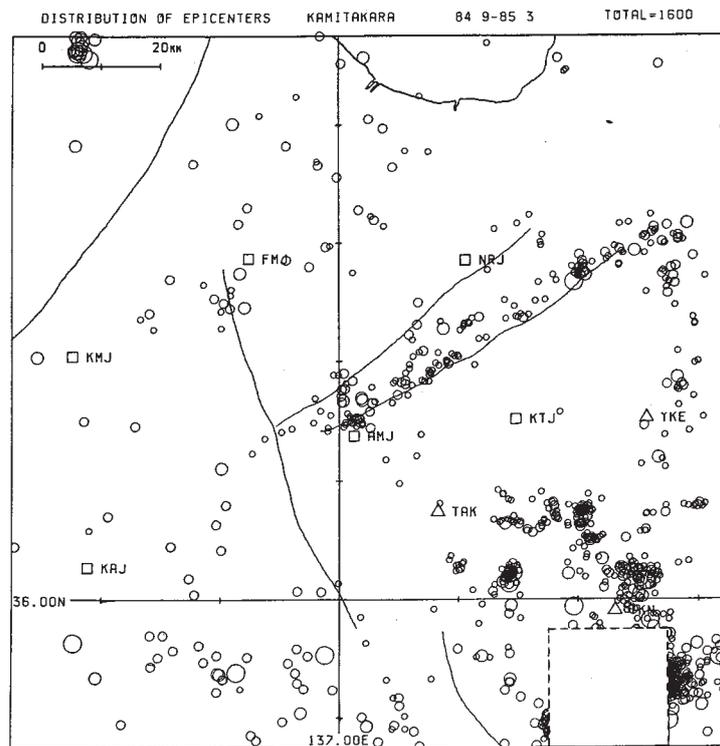
## 参 考 文 献

- 1) 京都大学防災研究所上宝地殻変動観測所：1984年長野県西部地震前後の飛騨地方北部及び周辺の地震活動と地殻変動，連絡会報，**33**（1985），135 - 143.



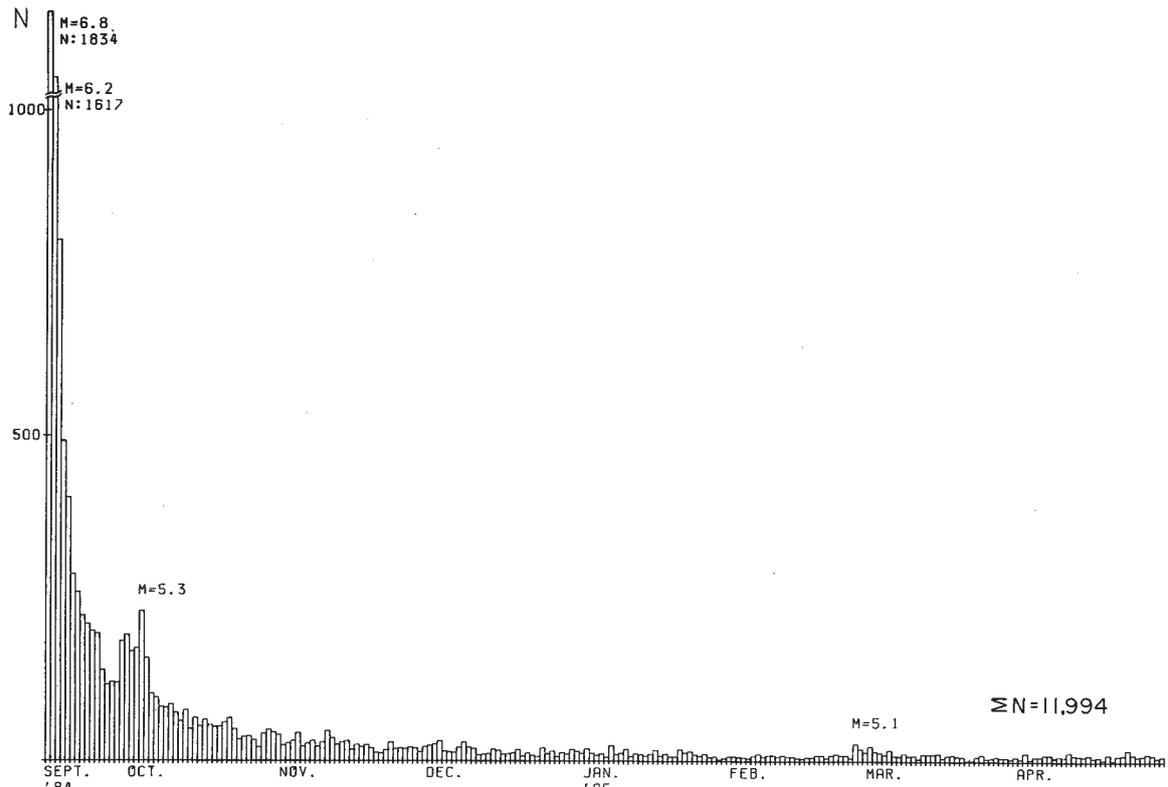
第1図 中部地方北西部（飛騨地方北部及び周辺）の地震活動：  
 (a) 1984年9月14日 - 12月31日  
 (b) 1985年1月1日 - 3月31日

Fig. 1 Seismicity in the Northern Hida Region:  
 (a) September 14, 1984 - December 31, 1984  
 (b) January 1, 1985 - March 31, 1985



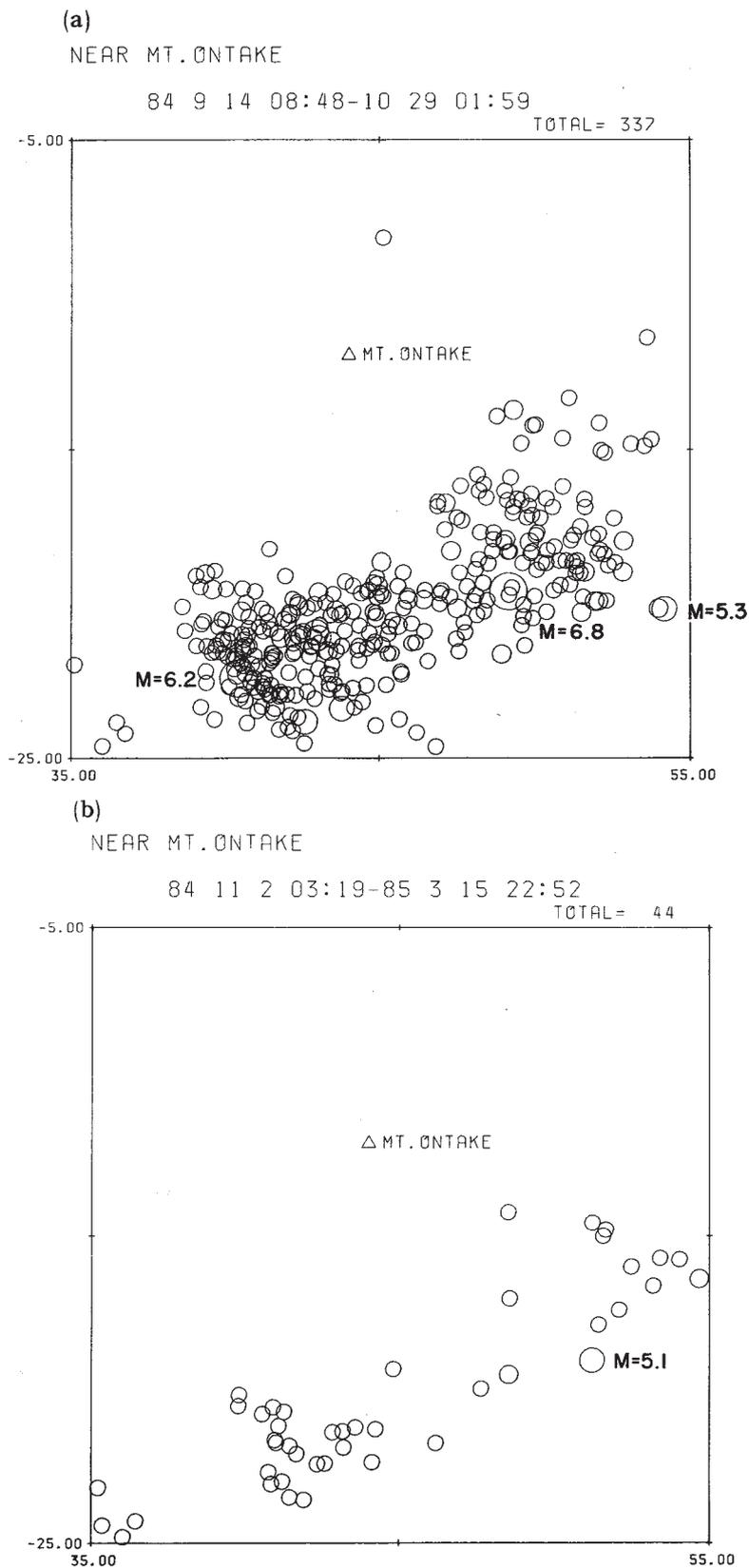
第2図 同上：1984年9月14日 - 1985年3月31日

Fig. 2 Seismicity in the Northern Hida Region. (September 14, 1984 - March 31, 1985)



第3図 1984年長野県西部地震の余震活動の時間的推移（日別頻度分布）

Fig. 3 Aftershock Activity of the 1984 Western Nagano Earthquake during September 14, 1984 - April 30, 1985. (Frequency of aftershocks recorded per day)



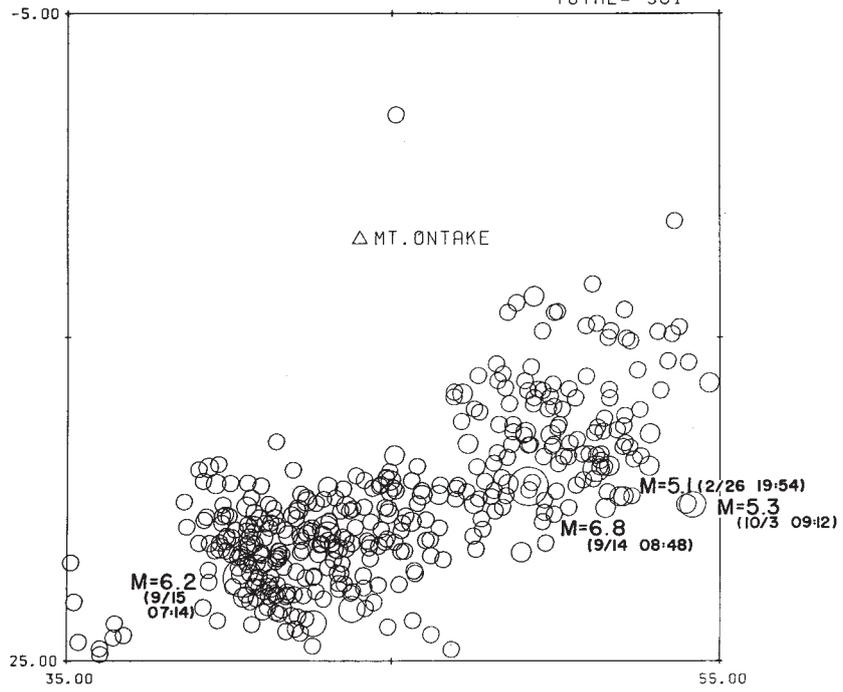
第4図 長野県西部地震の余震 ( $M \geq 3$ ) の震央分布  
(a) 1984年9月14日 - 10月30日  
(b) 1984年11月1日 - 1985年3月31日

Fig. 4 Distribution of aftershock epicenters with magnitudes greater than 3.0 within the area enclosed by dotted lines in Fig. 1.  
(a) September 14, 1984 - October 31, 1984  
(b) November 1, 1984 - March 31, 1985

NEAR MT. ONTAKE

84 9 14 08:48-85 3 15 22:52

TOTAL = 381



第5図 同上：1984年9月14日 - 1985年3月31日

Fig. 5 The same as in Fig. 4. (September 14, 1984 - March 31, 1985)